

岩大E_code

人文社会科学部 3年 角地美桜 佐藤慎之介 大山一樹

I-1 ●岩大E_codeとは

メンバー：13名

(4年1名, 3年5名, 2年2名, 1年4名, 教授1名)

活動対象地域：岩手県陸前高田市



I-2 ●名前の由来

Communication

Collaboration

Community

Design



をあらわすCO

をあらわすDe

I-3 ③ ●今年度の方向性

『関係人口増加』を
最終目標に活動していきます。

前期→市民との交流 後期→高田に人を呼び込む
(前期の活動を生かして)



I-4 ●突撃！たかたの仕事人！

【目的】

(前期)

陸前高田市に住む「各産業で頑張っている人」との
関わりを広げ、今までの活動でアプローチできてい
なかった方々と交流をするため。

(後期)

その人たちを中心に「人を呼び込むための活動」をし、
市内外の人たちをつなげるため。

I-5

①各チームに分かれ、各産業で働く人の元を訪
れ、仕事のお手伝いをさせてもらう
(または仕事を見させていただく)。

②その時間の中で、あらかじめ全体で決めて
いた

取材内容を聞き、データに残す。

③前期でまとめたデータを元に、
「高田に人を呼び込む活動」を行う。

I-6

「突撃！高田の仕事人！」 活動成果

7人にインタビューを行うことができた。

～インタビュー先の例～

- ・箱根伝承館
- ・株式会社ロッツ
- ・リンゴ農家の安生さん

今回のプログラムを基盤に、
後期活動として、
イベント企画と情報紙の作成に動き出す。





Ⅱ-1「ハコ×ネコ」 企画成立の経緯

仕事人企画において箱根山テラスの溝渕さんに取材をした際、「箱根山を良さを活かしたイベントを企画できないか」と提案された。



Ⅱ-2「ハコ×ネコ」の目的

箱根山の3施設「箱根山テラス」「気仙大工左官伝承館」「杉の家はこね」の連携と、箱根山への来山者を増やすため、箱根山に住む猫と絡めたイベントを企画することに



Ⅱ-3 猫ゆべし作り & 抹茶体験

体験アとし
る猫に負え流
いマ職教交
てりマ職教交
れ作一館をと
わしテ承方ん
行べを伝りさ
でゆ「猫」作客
館の猫シにお
承常「ン」も
伝通をレとがた。



Ⅱ-4 木工作体験

体験スし客具
作ボックにお工
木用モチを、に
では猫モ加工実
杉の実。猫物を身
杉のや、たさを
杉のや、たさを



Ⅱ-5 写真展示 動画上映 ラテアート

箱根山テラスでは事前
公募した猫の写真を
展示、限定で猫のラ
ートを販売し、自身
の顔を描けるサー
ビスも行った。

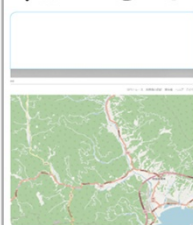


Ⅲ-1

陸前高田紹介パンフレット 『たかところ』の製作

【発端】道の駅と津波伝承館が新設され、来訪者自体は増えた。しかしそれは市内には至っていない。→街を知ってリピーターになってほしい。

たかところ



帰り道を辿る
道順考案等、
訪問のハード
ルを下げる
工夫を行う。

→次の訪問につながりそうな場所や人を紹介し、高田をただ通りすぎる人を、高田内のほかの場所に引き込む。